

「フェアレディZ」を一部改良

2004年09月08日

日産自動車(本社:東京都中央区銀座 社長:カルロス ゴーン)は、「フェアレディZ」を一部改良し、9月8日より全国一斉に発売する。



フェアレディZ Version S<オプション装着車>(左)

フェアレディZ ロードスター Version T<オプション装着車>(右)

今回の一部改良では、ボディカラーに、上塗層を1層追加することで彩度、輝度をより向上させた新色のプレミアムサンシャインイエローを追加した。インテリアについては、シルバーパーツをより質感のある色味に変更したほか、全車*1に運転席シートリフターを標準装備した。また、マニュアルモード付フルレンジ電子制御5速オートマチックに、日産初の「シンクロレブコントロール」機能を採用。Dレンジ及びマニュアルモードでのシフトダウン時にエンジン回転数を最適制御し、より一層スポーティでスムーズな走りを可能とした。更に、全車が「平成17年基準排出ガス50%低減レベル(U-LEV)」*2の認定を受けている。

尚、今回の一部改良にともないライフケアビークル(LV)*3「オーテックドライブギアタイプe」についても継続設定する。
(株)オーテックジャパンより発売)

*1:ロードスターのネットシート装着車は除く

*2:2000年4月より国土交通省が、一般消費者の選択を通じ、排出ガス低減性能の高い自動車の普及を促進するために開始した低排出ガス車認定制度。2003年9月に「平成17年排出ガス規制(新長期規制)」が制定されたことを受け、

同年 10 月に制度が改訂され、NOx および NMHC の排出量の低減レベルが基準より 50%低減した「平成 17 年基準排出ガス 50%低減レベル(U-LEV)」と 75%低減した「平成 17 年基準排出ガス 75%低減レベル(SU-LEV)」の 2 種類が設定された。

*3:ライフケアビークル:日産自動車グループでは、生活のいろいろなシーンでお役に立ちたいとの意味を込めて、福祉車両を「ライフケアビークル」(LV:Life care Vehicle)と呼んでいる。

<取り扱い販売会社> NISSAN Red Stage: サテオ系、プリンス・チェリー系各販売会社

* 全車種取り扱い店(NISSAN Red & Blue)を含む

<仕様・装備の主な変更点>

●エクステリア/インテリア

- ・ボディカラーに新色プレミアムサンシャインイエロー(3P)* 追加
- ・運転席シートリフターを全車(ネットシート装着車を除く)標準装備
- ・シルバーパーツ色味変更

*:3P は 3 コートパール(特別塗装色)の略。

●装備

- ・マニュアルモード付フルレンジ電子制御 5 速オートマチックに「シンクロレブコントロール」機能採用
- ・ヒーター付ドアミラー全車標準装備

●その他

- ・全車「平成 17 年基準排出ガス 50%低減レベル(U-LEV)」認定

<全国希望小売価格(消費税込み)>

(単位:円)

車種	駆動	グレード	エンジン	ミッション	価格
クーペ	2WD(FR)	フェアレディZ	VQ35DE (NEO)	6MT	3,150,000
				5M-ATx	3,255,000
		フェアレディZ Version S		6MT	3,465,000
		フェアレディZ Version I		5M-ATx	3,570,000
フェアレディZ Version ST		6MT		3,780,000	
フェアレディZ Version ST		5M-ATx		3,885,000	
ロードスター		フェアレディZ ロードスター		6MT	3,675,000
		フェアレディZ ロードスター		5M-ATx	3,780,000
	フェアレディZ ロードスターVersion I	6MT	3,990,000		
フェアレディZ ロードスターVersion I	5M-ATx	4,095,000			

6MT:6速マニュアル

5M-ATx:マニュアルモード付フルレンジ電子制御5速オートマチック

(了)